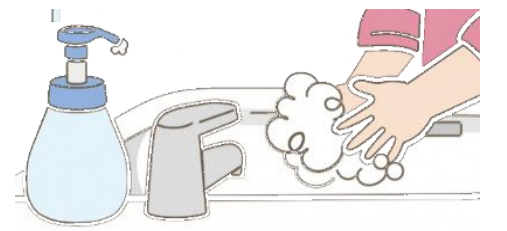




新型コロナウイルス感染対策のポイントー入院編ー

コロナウイルスの侵入経路：目・鼻・口を防御してウイルスが侵入しないようにする
(フェイスシールド・サージカルマスク・手洗い)



実施項目	ポイント・注意点
------	----------

手指衛生 *医療感染は手を介して伝播されることが多く手洗いは感染対策の基本	
--	--

石けんと流水での手洗い	目に見える汚れが付着した時（目に見える汚れは物理的に汚れを取り除くことが必要）、食事の前（食事介助の前）、トイレの後（排泄介助の後）。石けんで15秒以上泡立てたのちしっかりすすぐ
-------------	---

アルコール手指消毒剤での手洗い <p>指先を手のひらに前後・回転させて擦りこむ</p> <p>ノズルを下までしっかり押す</p> <p>指先や爪の間</p> <p>反対の指先や爪の間</p> <p>手のひら</p> <p>乾燥させれば終了</p> <p>手首</p> <p>親指</p> <p>手のひらで親指を握り回転させながら擦りこむ</p> <p>指の間</p> <p>手の甲</p> <p>メディカ出版 感染対策必守手技 一部改変</p>	消毒効果を得るための1回使用量は、専用ポンプを下まで押し切った量 * ウイルスを死滅させるためには手指と消毒剤の接触時間が重要です。擦りこみ、乾燥させることで消毒効果が得られる * 石けんと流水での後、さらに消毒剤を使用する必要はない 手洗いのタイミング ①患者に触れる前 ②患者に触れた後 ③手袋を外した後 ④患者周辺環境に触れた後 ⑤点滴や尿道留置カテーテル挿入などの清潔/無菌操作の前 ⑥オムツ交換、尿廃棄などの体液汚れが付着する可能性がある処置をした後 * ⑥の場面は必ず石けんと流水での手洗い。それ以外のタイミングはアルコール手指消毒剤でも石けんと流水でもどちらでも可
---	---

個人防護具 (PPE) *正しく着脱することでPPE着用の効果がある	
---	--

入院患者から陽性者が発生したら、職員は業務中はサージカルマスクとフェイスシールド又はゴーグルを着用し、コロナの感染経路である「目・鼻・口」を防御する	発症2日前から感染させる可能性がある。自分も他の患者も感染している可能性があると考え感染対策を実施
--	---

感染者・濃厚接触者・感染が疑われる患者に対するPPEの選択 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>サージカルマスク</th> <th>N95マスク</th> <th>手袋</th> <th>ガウン</th> <th>目の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診察（飛沫曝露リスク大）*1</td> <td>●</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>診察（飛沫曝露リスク小）*2</td> <td>●</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>呼吸器検体採取</td> <td>●</td> <td>△</td> <td>●</td> <td>△</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>エアロソル発生手技*3</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>環境整備</td> <td>●</td> <td>△</td> <td>●</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>リネン交換</td> <td>●</td> <td>△</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>患者搬送*4</td> <td>●</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>		サージカルマスク	N95マスク	手袋	ガウン	目の保護	診察（飛沫曝露リスク大）*1	●	△	△	△	●	診察（飛沫曝露リスク小）*2	●	△	△	△	△	呼吸器検体採取	●	△	●	△	●	エアロソル発生手技*3		●	●	●	●	環境整備	●	△	●	△	△	リネン交換	●	△	●	●	●	患者搬送*4	●	△	△	△	△	身体が接しないケアはガウン、手袋着用は不要 例) 体温計を渡す、配薬、配膳、手引き歩行など *1 患者がマスクの着用ができない、近い距離での処置など、顔面への飛沫曝露のリスクが高い *2 患者はマスクを着用し、顔面への飛沫曝露のリスクは高くない *3 喀痰吸引、口腔ケアなど *4 直接患者に触れない業務（ドライバーなど）ではガウンは不要 ● 必ず使用する △ 状況により使用する 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド（第5版）
	サージカルマスク	N95マスク	手袋	ガウン	目の保護																																												
診察（飛沫曝露リスク大）*1	●	△	△	△	●																																												
診察（飛沫曝露リスク小）*2	●	△	△	△	△																																												
呼吸器検体採取	●	△	●	△	●																																												
エアロソル発生手技*3		●	●	●	●																																												
環境整備	●	△	●	△	△																																												
リネン交換	●	△	●	●	●																																												
患者搬送*4	●	△	△	△	△																																												



プラスチックガウン着用の場合の着脱順序 ビニールエプロン着用でも構いません	
--	--

PPE着用順序 ①手指衛生 ②ガウン ③サージカルマスク または N95マスク*1 ④ゴーグル または フェイスシールド ⑤手袋	首の回りが大きく空いている場合は首の後ろの紐を切って結ぶ 紐は後ろで結ぶ ガウンの袖に親指で穴を開ける *1 エアロソル排出リスクが高い場合：患者に咳嗽がある、食事介助、口腔ケア	
--	--	--

PPEを外す順序	
-----------------	--

①手袋を外す ②手指衛生 ③ガウンを外す ④手指衛生 ⑤ゴーグルを外す ⑥手指衛生 ⑦マスクを外す ⑧石けんと流水又はアルコール手指消毒剤	袖の内側に手を入れ 袖口の外側と外側を 肩の辺りを引っ張る 手のひらを隠す 持ち腕を抜く 体から離して 腰紐を引っ張る 小さく丸めて捨てる	
--	---	--

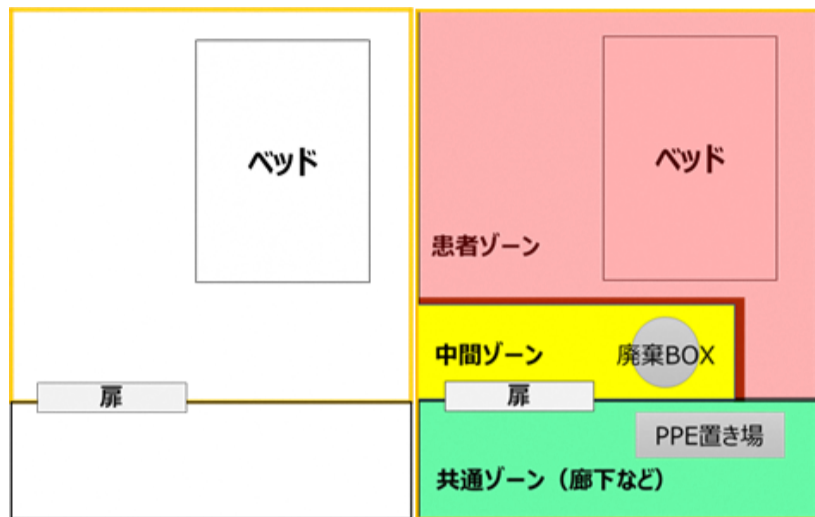
病室ゾーニングの例 *専用病棟（病棟全体でのゾーニングは不要）

ゾーニングの優先順位 1. 個室管理 2. 同疾患同室隔離 3. (やむを得ない場合)多床室カーテン隔離

*全ての患者にベッドから離れる際はマスク着用を依頼する

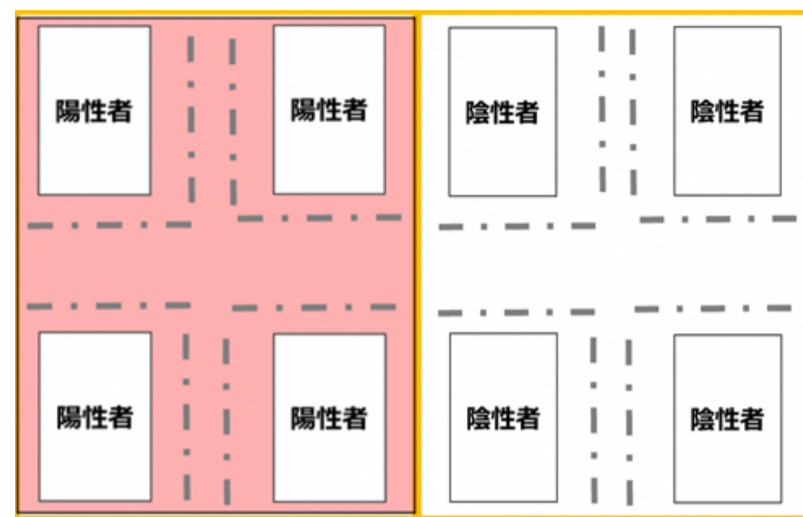
① 個室管理の場合

- ・陰圧室である必要はない
- ・非陽性者と隣室でも差し支えない



② 同疾患同室隔離の場合

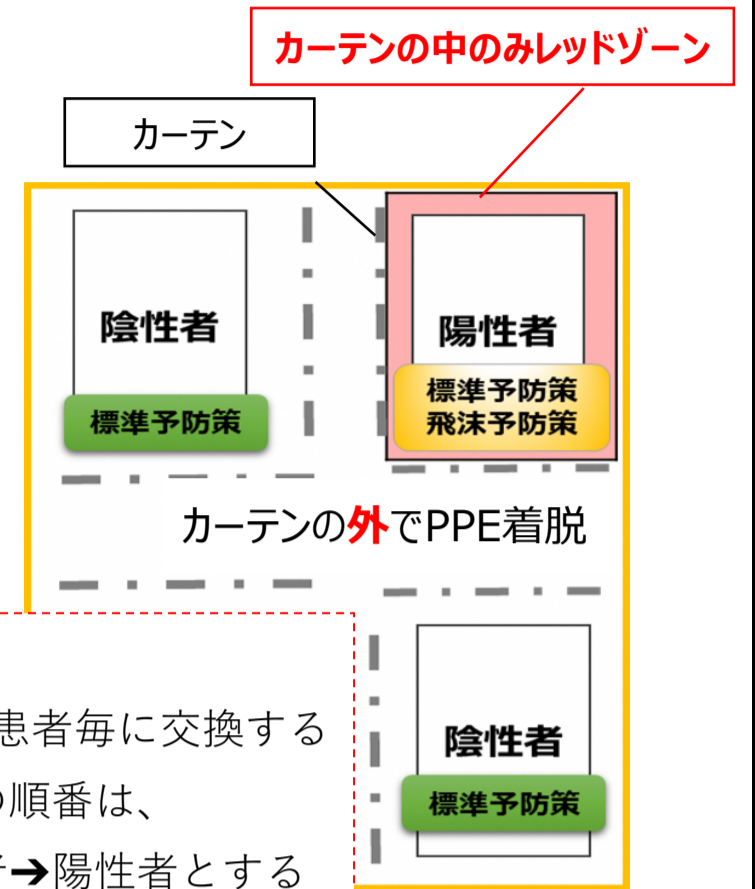
- ・一般多床室で可能
- ・非陽性者と隣室でも差し支えない



やむを得ない場合

③ 多床室カーテン隔離の場合

- ・一般多床室で可能



(注)

- ・PPEは患者毎に交換する
- ・ケアの順番は、陰性者→陽性者とする

陽性者と非陽性者が共有で使用する場所

- ・トイレ→区別する必要はない
- ・洗面所→歯磨き時など感染するリスクがあるため場所や時間帯を分ける

院内感染対策

環境整備	<p>【環境整備する場所：頻回に触る場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド柵、オーバーテーブル、床頭台、スイッチ、手すりなど <p>【環境整備に使用する物品：環境クロス使用が望ましい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・界面活性剤が含有されている製品 <p>*一般的な家庭用洗浄剤に含有される界面活性剤が、新型コロナウイルスを不活化させることが報告されている。患者周辺環境の清掃に必ずしも消毒が必要ではない</p> <p>医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド (第5版)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>クロスに含まれている消毒薬</th> <th>消毒効果</th> <th>洗浄効果</th> <th>備考</th> <th>ノロウイルスへの効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルコール</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>タンパク質がアルコールと反応して凝固してしまい、汚れが落ちない</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>次亜塩素酸ナトリウム</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>有機物（汚れ等）が残っている状態で使用すると、消毒効果が低下する</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>第四級アンモニウム塩界面活性剤</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>洗浄（汚れ除去）と同時に、消毒効果も得られる</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	クロスに含まれている消毒薬	消毒効果	洗浄効果	備考	ノロウイルスへの効果	アルコール	◎	×	タンパク質がアルコールと反応して凝固してしまい、汚れが落ちない	×	次亜塩素酸ナトリウム	◎	×	有機物（汚れ等）が残っている状態で使用すると、消毒効果が低下する	◎	第四級アンモニウム塩界面活性剤	○	◎	洗浄（汚れ除去）と同時に、消毒効果も得られる	×
クロスに含まれている消毒薬	消毒効果	洗浄効果	備考	ノロウイルスへの効果																		
アルコール	◎	×	タンパク質がアルコールと反応して凝固してしまい、汚れが落ちない	×																		
次亜塩素酸ナトリウム	◎	×	有機物（汚れ等）が残っている状態で使用すると、消毒効果が低下する	◎																		
第四級アンモニウム塩界面活性剤	○	◎	洗浄（汚れ除去）と同時に、消毒効果も得られる	×																		
医療器具	<ul style="list-style-type: none"> ・陽性患者専用とする ・使用後は洗浄可能な製品は洗浄後に乾燥。不可製品は界面活性剤含有クロス又はアルコールシートで清拭 	<ul style="list-style-type: none"> ・陽性者の病室に持ち込んだ医療材料は、未使用でも廃棄しなければならないことがあるため最小必要数を持ち込む 																				
シャワー	<ul style="list-style-type: none"> ・ADLが自立している患者（介助不要）はシャワー浴可 ・介助が必要な患者は療養期間中は、清拭対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴の順番を最後にする ・他の患者と交差しないように調整する ・使用後は浴室のドアを開け換気し、翌朝通常清掃する（消毒不要） 																				
配膳	<ul style="list-style-type: none"> ・通常通りの食器を使用（デスポ製品を使用する必要はない） <p>医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド (第5版)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デスポ製品を使用することにより「見た目が悪い」「持ちにくい」「こぼしてしまう」など食事量低下の要因になる ・一般的な家庭用洗浄剤に含有されている界面活性剤によって、新型コロナウイルスが不活化されることが報告されている 																				
リネン	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に提出の条件について委託業者に確認しておく ・院内で洗濯している場合は、通常通りの洗濯（消毒する必要はない） <p>医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド (第5版)</p>	<p>家族へ洗濯物を依頼する場合は、通常の洗濯でよいことを説明し洗濯物を触った後は石けんと流水で手洗いするように指導する</p> <p>*食器と同様に、家庭用洗剤と洗濯機を用いた標準的な洗濯方法でウイルスを不活可できる</p>																				
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に廃棄の条件について委託業者に確認しておく ・排出された廃棄物は、感染性廃棄物として排出する <p>環境省 廃棄物における新型コロナウイルス感染症対策に関するQ&A (医療関係期間等向け)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係機関等から排出される新型コロナウイルス感染症に係る感染性廃棄物については「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に基づき処理する 																				
検査等	<ul style="list-style-type: none"> ・患者が病室外に出る際はサージカルマスクを着用して頂く ・レントゲンやCT検査等、必要な検査は検査の順番を最後にするなど、他の患者と交差しないように調整する 	<p>院内で事前に動線等を決めておく</p>																				
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ担当者は、マスク、フェイスシールド、ガウン、手袋を着用し実施 ・1回の実施時間を30分以内に設定するなど長時間密接に接触しないようにする 	<p>新型コロナウイルス感染症が陽性であることを理由にリハビリを禁止しない。実施しないことによる廃用症候群を引き起こすデメリットが大きい</p>																				
死後のケア	<ul style="list-style-type: none"> ・療養期間終了前に亡くなられた遺体に、臨終後の対応、エンゼルケアで触れる場合は、新型コロナウイルス感染者に接する場合に応じた対応（サージカルマスク、手袋、使い捨て長袖ガウン、フェイスシールド又はゴーグル着用）を実施する <p>新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及び疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン</p>	<p>遺体の清拭及び鼻、肛門等への詰め物や紙おむつの使用等により体液等の漏出予防を行うことにより、遺体からの感染リスクは極めて低くなり、通常の遺体と同様に扱うことができ納体袋に収容する必要はない</p>																				